

宮代町郷土資料館だより

# えんがわ

第32号

## 平成19年度 新指定文化財

町指定文化財として、新たに前原遺跡出土縄文時代草創期微隆起線文土器と、東条原の岡安家文書の2件が指定されました。

宮代町教育委員会では、町に所在する様々な文化財のうち、町にとって重要なものを順次指定していますが、平成19年度新たに前原遺跡出土縄文時代草創期微隆起線文土器と東条原の岡安家文書の2件が指定されました。

### 前原遺跡出土縄文時代草創期微隆起線文土器

前原遺跡は、現在の前原中学校の校庭一帯、約12,000㎡を昭和55年3月から56年3月まで約1年間に渡って発掘調査が行われました。その結果、旧石器時代約14,000年ほど前の2か所の石器の集中地点をはじめ、縄文時代早期約8,000年前の6軒の住居跡や、同後期約4,000年前の住居跡2軒など、多数の遺構、遺物が出土し、旧石器時代や縄文時代の研究者にとって、非常に注目を集めた遺跡です。

この前原遺跡のある台地先端部付近から、今回指定となった縄文時代草創期約12,000年前の微隆起線文土器が出土しました。

この、微隆起線文土器は縄文時代でも非常に古い段階の土器の一つで、小さな破片ですが7点出土しました。発掘後30年近く経ちますが、埼玉県東部地区では、その後の出土例はなく、県内でもおよそ10遺跡を数えるにすぎません。

縄文時代草創期の土器の様相を知る上で、貴重な考古資料です。



前原遺跡出土縄文時代草創期微隆起線文土器

## 岡安家文書

岡安家は、旗本細井氏知行の東叡原の名主として江戸時代中期の延享3年（1746）から、一時期を除き終始名主を務めていました。明治期にも名主や副戸長、明治15～17年まで、西叡原村、爪田谷村、東叡原村の戸長となり、その後須賀村村長も務めました。

そうした江戸時代から明治時代にかけての関係の文書群を中心として、881点が今回指定になりました。



叡原村検地帳 元禄3年（1690）9月

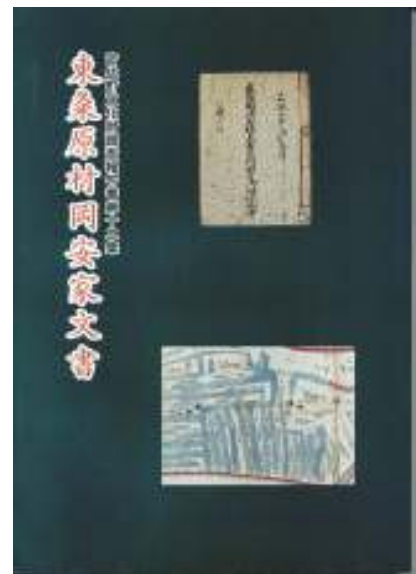
文書群は江戸時代のもの362点で、高書明細帳、年貢割付状、年貢皆済証文、検地帳、高札、願書、用水関係、苗字帯刀仰付状、道中手形などがあります。なお、延享3年以前の文書は前の名主から引き継いだものと推定されます。



高札 正徳元年（1711）5月

東叡原村の支配の様子や村の出来事が詳しく分かる文書などが多く、また、元禄3年の検地帳や年貢割付状など土地や税の状況の分かる資料、明治期の久米原学校の文書や佐倉県と呼ばれた当時の資料もあり、歴史資料として貴重なものです。

なお、岡安家の文書群は平成15年に宮代町文化財調査報告書第12集としてまとめられています。



岡安家文書の報告書

### 速報

**日本工業大学所蔵の工業技術資料が、国の登録有形文化財として登録される。**

町内にある、日本工業大学 工業技術博物館の工業技術資料178点が、国の登録有形文化財（歴史資料）として、登録されました。歴史資料としては埼玉県で初めての登録です。

これらの資料は、明治期の旋盤や機関車など、動かすことが可能な状態で保存されています。我が国の近代工業の軌跡をたどる貴重な遺産であり、歴史的、学術的に価値の高いものです。

# 文化財調査の結果、新たな歴史が判明！！

## 久喜の香最寺で旧大聖院建築物を確認。

平成20年2月7日に久喜の香最寺で建造物調査が行われました。これは、宮代町大字東条原にあった大聖院本堂（旧久米原学校校舎）が久喜の香最寺にあるとの情報を住民の方から頂き、調査を実施したものです。香最寺の住職へお聞きしたところ、宮代町から大正8年に移築した伝承が残っているとのことでした。調査は、香最寺の本堂の計測や写真撮影を行いました。建築部材のいたる所に移築した跡が残っていました。

現在の香最寺本堂の間口は13メートル、奥行きは12メートルとなっていますが、久米原学校（大聖院本堂）時代は間口5間、奥行き5間の主体部に間口4間、奥行き2間の付属屋が付く建物であったことが、古文書で確認できます。これらのことから、大聖院本堂をそのまま移築したものではなく、建築部材



香最寺本堂（旧大聖院・久米原学校建築物）

を再利用して、新たに香最寺の本堂として建て直したものと推定されます。大聖院は明王山大聖寺と号し、江戸時代の中頃までは西条原村にあった明智寺の末寺でしたが、明治3年には、百間東村西光院の末寺であったことが確認されています。また、江戸時代中頃以降、西光院の末寺であった青林寺の隠居寺であ



久米原学校配置図

ったことも確認されています。その後、明治6年4月には廃寺となりました。そして、明治8年に西条学校（後の久米原学校・現在の須賀小学校）の校舎として利用され、大正5年まで利用してきましたが、現在の須賀小学校の校地に須賀小学校が開校したため、廃されました。その後、香最寺本堂として移築されたと推定されます。

を再利用して、新たに香最寺の本堂として建て直したものと推定されます。

大聖院は明王山大聖寺と号し、江戸時代の中頃まで

ったことも確認されています。その後、明治6年4月には廃寺となりました。そして、明治8年に西条学校（後の久米原学校・現在の須賀小学校）の校舎として利用され、大正5年まで利用してきましたが、現在の須賀小学校の校地に須賀小学校が開校したため、廃されました。

## 服部権太夫の銘を金原共有墓地で発見

平成19年6月13日、金原共有墓地内の関根孝吉家墓所で墓石調査が行われました。関根家は、江戸時代中頃から後半にかけて、百間金谷原組の名主を勤めており、当時の古文書や岩槻城絵図などが伝わる家です。今回の調査は名主を勤めていた当主の俗名等を確認するため行われました。

調査の結果、3代に渡り名主を勤めていたことが分かりました。この他、明治31年に造立された墓石に服部権太夫が記されていました。服部権太夫は文禄元年(1592)から元和5年(1619)まで百間村の領主でした。これまで、幕府の記録や明治時代に書かれた「百間史料」に僅かに記されていましたが、地元の石造物では初めての発見です。この石造物は明治時代のもので直接的な一級資料というわけではありませんが、少なくとも明治時代までは服部権太夫の伝承が百間の地に残っていたという事は非常に重要であると考えられます。



「百間」服部権太夫が刻まれる関根家墓石

## 東共同墓地で墓地調査

平成20年2月21日、東共同墓地で墓地調査が行われました。この調査は、百間東村の名主を勤めていた家がどこの家なのかを明らかにするため行われました。調査の結果、名主としては、万之丞・菊蔵が島村姓、善右衛門・栄蔵も島村姓、治左衛門・治郎右衛門が鈴木姓、甚左衛門も鈴木姓、吉五郎も鈴木姓、伊兵衛も鈴木姓であることが分かりました。少なくとも6軒の家が百間東村の名主を勤めていたと推定されます。この他、古文書で確認できる百間東村の名主としては、彦七、幸内、伝六、七蔵、喜左衛門がいますが、いずれも、どの家の先祖なのかは分かっていません。これらの内、幸内は横溝姓で西光院領の名主であるようですが、詳細は不明です。今後、名主を勤めていた家を解明し、古文書等の調査を行い百間東村の歴史を明らかにしたいと思っています。ご存知の方は郷土資料館まで情報提供をお願いいたします。



# 百間村役場跡に文化財案内板設置

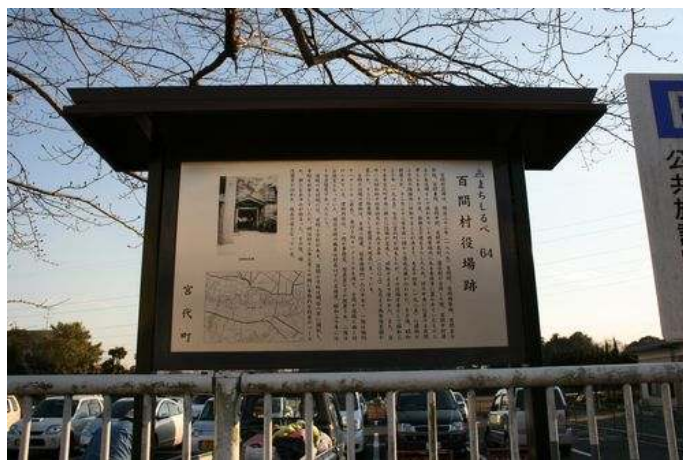
現在、字西原の百間小学校前の駐車場になっている百間村役場跡に、文化財案内板が設置されました。

案内板には、百間村役場跡の変遷や経緯、当時の建物の様子などについて解説されています。

文化財案内板は、平成8年度から設置され、今回で29基目を数えます。ふるさと歩道の案内板を入れると、町内37か所に設置されています。

宮代町の文化財をネットワーク化するとともに、地域の歴史、文化に触れていただくため、各か所に案内板や標柱を随時設置しています。

町内の各地域の歴史や文化、行事などについて理解を深めるきっかけとして、この案内板を活用し、町内の散策など行ってみたいかがでしょうか。



百間村役場跡の案内板

## 資料館日誌抄

- 10月23日 道仏上遺跡発掘調査(11月2日まで)
- 11月18日～12月2日 郷土史講座「縄文学ことはじめ」(計3回)
- 11月28日 弥勒院建築物調査
- 11月29日 中寺遺跡試掘調査
- 12月1日 たこづくり教室
- 12月6日 百間中学校総合学習資料館見学
- 12月13日 第2回文化財保護委員会
- 12月19日 山崎遺跡試掘調査
- 12月20日 寿大学へ講師を派遣
- 1月12日 企画展「速報 道仏北遺跡発掘出土品展」(4月20日まで)
- 1月22日 金原稻荷神社遺跡発掘調査(1月25日まで)
- 2月1日 百間小学校総合学習資料館見学
- 2月5日 第3回文化財保護委員会
- 2月6日 大崎遺跡・伝承服部氏屋敷跡遺跡試掘調査
- 2月7日 久喜市香最寺建築物調査
- 2月15日 姫宮神社遺跡試掘調査
- 2月21日 東共同墓地調査
- 2月26日 季節展示「ひな人形」(4月上旬まで)
- 3月2日～16日 古文書講座(計3回)

- 3月14日 笠原小学校総合学習講師派遣
- 3月27日 藤曾根遺跡試掘調査
- 4月1日 岡安家文書及び前原遺跡草創期微隆起線文土器が宮代町指定文化財に指定される。

## 資料館寄贈者名簿

- |       |         |
|-------|---------|
| 吉岡郁子氏 | 民具      |
| 横溝 東氏 | 民具      |
| 川端 2区 | 8ミリフィルム |
| 大島政治氏 | 写真帖     |

宮代町郷土資料館だより えんがわ 32号

発行日 平成20年3月31日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>